

journal standard
Furniture



選ぶ・つくる・住む・つながる

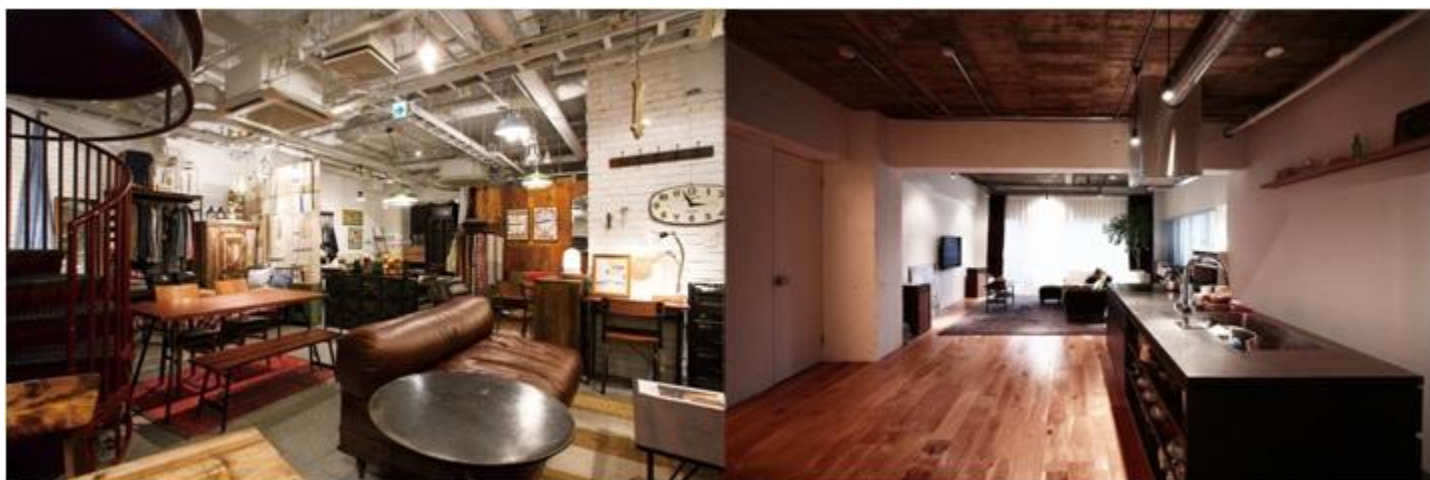
リノベる。

journal standard Furnitureとリノベる。が事業提携

journal standard Furnitureのブランドイメージを
リノベーションで再現するサービスを6月より開始

ジャーナルスタンダードが展開する人気の家具ライン「ジャーナル スタンダード ファニチャー」を運営する株式会社ACME（本社：東京都渋谷区、代表取締役：窪田祐）と、中古マンション購入・リノベーションの設計施工・ローン組みをパッケージ化したシステム「リノベる。」を運営するリノベる株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：山下智弘）は、2014年2月に業務提携致しました。14年6月より、ジャーナル スタンダード ファニチャーの商品、店舗イメージを再現した住空間を提供するリノベーションサービス「journal standard Furniture×リノベる。」の共同運営を開始致します。

住宅業界と家具業界は近しいマーケットでありながら、同時に検討する住まいづくりは一般的ではなく、トータルデザインがしにくい構造になっています。本事業提携は従来型の住まいづくりと一線を画す取り組みを行うことによって、欧米に比べ劣っているとされる日本の住環境の向上を目指していきます。



選ぶ・つくる・住む・つながる

リノベる。



■プロジェクト概要

ジャーナルスタンダードファニチャーのファッションの様なスタイルを提案するコンセプトと、リノべる。の「資産価値の落ちにくい、自分らしい住まいづくり」を融合させた住まいづくりを行います。既にあるものを有効活用して、必要以上の費用は掛けないという理想的なサイクルでサービスを提供して参ります。

■サービス内容

お客様が購入した中古住宅の間取り、内装、設備の大まかな選定とデザインをジャーナルスタンダードファニチャーが行い、詳細な図面作成や施工管理などの品質を確保する技術面を「リノべる。」が行います。価格は設計料と施工費を合わせ、80㎡で1000万円（税別）程度になる予定で、設計期間は1.5ヶ月、施工期間は2ヶ月程度を予定しています。

■ショールーム

「journal standard Furniture×リノべる。」による第1号ショールームは、14年6月に東京都港区に完成予定です。築36年の中古マンションをベースとしたショールームで、本サービスのデザインコンセプトの体験をご提供致します。（見学は完全予約制）

■目標

今後、共同でリノベーションセミナーを開催していくと共に、両社のWebサイト、journal standard Furniture、ACMEの店頭にてサービス訴求を行って参ります。





■リノべる。について

設立 : 2010年4月
 代表取締役 : 山下智弘
 資本金 : 5,500万円
 従業員数 : 40名 (14年3月現在)
 事業内容 : リノベーションの設計、
 施工及びコンサルタント



■リノべる。のサービスについて

リノべる。は、①物件探し ②設計・施工 ③リノベーション専用ローン、を一つの窓口で提供するリノベーションのワンストップサービスです。

従来は物件探しは不動産屋さん、設計・施工はリフォーム会社や設計事務所に、住宅ローンやリフォームローンは金融機関に行かなければなりませんでしたが、これらの業者は近い業界でありながら互いの分野についてそれほど詳しくないのが実情です。ましてや、リノベーションという新しい住まいづくりになると、言葉が通じにくく、消費者がストレスを感じることもしばしばありました。

リノべる。では、リノベーションの専門家である専属コーディネーターが、お客様の理想とするリノベーションを始めから終わりまでサポートします。業者間の言葉がかみ合わないというストレスもなく、安心したリノベーションを行うことができます。

お気に入りの物件、デザイン、ローンをかごに入れてお会計、というセレクトショップ感覚のリノベーション専門のサービスです。

STEP 1

リノベーションを知る

リノべる。では、お客様一人一人に専属のコーディネーターがご対応させていただきます。無料カウンセリングやセミナーを行っております。

STEP 2

リノベーション向き物件を選ぶ

「資産価値が落ちにくい物件」という視点で第三者のアドバイスをさせていただきます。独自のネットワーク網を活用し、他では得られない未公開物件情報もご提供いたします。

STEP 3

ローンを選ぶ

リノべる。専用ローンをご用意しています。従来よりも月々の返済を抑えることができる便利なローンです。

STEP 4

設計・デザインを楽しむ

専属デザイナーとリノベーションならではの自由な間取り作りやアイテム選びをお楽しみください。DIYのアドバイスも致します。

STEP 5

暮らしを楽しむ

お気に入りの住まいを思い切り楽しんでください！お引渡後も暮らしを豊かにするお得な情報などをご提供していく予定です。

■リノべる。ショールーム

- リノべる。東京ショールーム 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-6 バルビゾン3 番館201
- リノべる。大阪ショールーム 大阪市西区南堀江2-6-19 LINC MINAMI HORIE
- リノべる。名古屋ショールーム 名古屋市中区丸の内3丁目10-29 LINC MARUNOUCHI 2F
- リノべる。福岡ショールーム 福岡市博多区吉塚2-1-10サンコービル2F
- リノべる。仙台ショールーム 宮城県仙台市青葉区五橋2丁目8-15 朝日プラザ五橋303号
- リノべる。広島ショールーム 広島県広島市西区東観音町30-12 コーポブリューリープ604
- リノべる。岡山ショールーム 岡山県英田郡西粟倉村影石895 西粟倉「森の学校内」
- リノべる。群馬ショールーム 群馬県高崎市檜物町101 シンフォニア高崎城址1F
- リノべる。熊本ショールーム 熊本市中央区水前寺6丁目50-21 2F

journal standard
Furniture



選ぶ・つくる・住む・つながる

リノべる。

■ジャーナル スタンダード ファニチャーについて

設立 1992年4月27日（前身の有限会社アクメ含む）
 代表取締役 窪田 祐
 従業員数 43名（2013年10月7日現在）
 事業内容 家具、インテリアの企画・製造・販売、直営店の運営及び卸売

■ジャーナル スタンダード ファニチャーとは

時流を加えたファッションのようなスタイルを提案するJOURNAL STANDARDのインテリアショップ
 ヴィンテージを今に解釈したスタンダードなオリジナルアイテムと、
 トレンドが感じられる国内外の旬なブランドを組み合わせた
 テイストミックスのスタイルを提案します。

■ジャーナル スタンダード ファニチャー直営及び取り扱い店舗

[直営店]

journal standard Furniture 渋谷店	東京都渋谷区神宮前6-19-13 1F, B1F
journal standard Furniture 梅田店	大阪府大阪市北区梅田1-12-6 E-MA B1F
journal standard Furniture なんばパークス店	大阪府大阪市浪速区難波中2-10-70 なんばパークス3F
journal standard Furniture みなとみらい店	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-5-1 MARK ISみなとみらい1F
journal standard Furniture 吉祥寺店	東京都武蔵野市吉祥寺本町2-10-5 1F



■リノベーションについて

住宅全体の価値を再生する包括的な改修。既存の内装をすべて取り払い、間取りを含めて今の暮らしに合わせて作り変え、その住宅に新しい機能や価値を与えるものです。

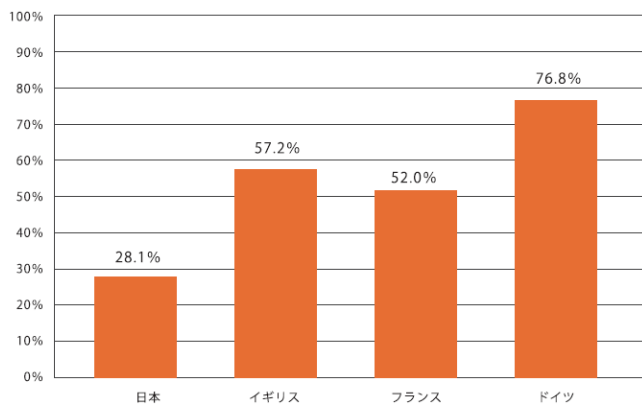
2010年に政府が打ち出した成長戦略として、中古不動産の流通とリフォーム産業の活性化が謳われ、20年間で市場規模を10兆円から20兆円に拡大させる、という内容が発表されました。リノベーションはその成長戦略のエンジンとして注目を浴びています。



■リノベーションと中古住宅流通を国もバックアップ！

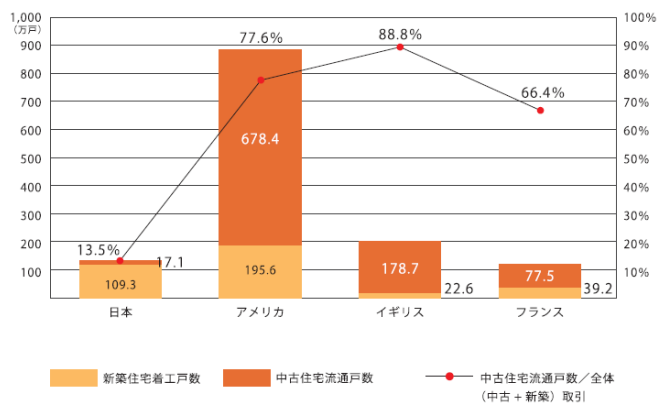
平成22年、国の新成長戦略として「中古住宅・リフォーム市場の倍増」が閣議決定されました。我が国の住宅投資に占めるリフォームの割合は、欧米諸国と比較して小さく（図1）、平成20年における住宅リフォーム市場規模は約6兆円と推計されています。また、欧米諸国における既存住宅流通シェアは7割～9割程度であるのに対し、日本では平成20年における既存住宅流通シェアは約13.5%と極端に小さい状況にあります（図2）。リフォーム瑕疵保険、リフォームの見積もりに係る相談体制の整備、中小工務店のリフォーム技術力向上のための支援などを行うことで市場規模を2020年までに倍増させる計画です。

[図1] 住宅投資に占めるリフォームの割合比較



[資料]
日本：国民経済計算（内閣府）及び（財）住宅リフォーム・紛争処理支援センターによる推計値
イギリス、フランス、ドイツ：ユーロコンストラクト資料

[図2] 既存住宅流通シェアの比較



[資料]
日本：住宅・土地統計調査（平成20年）（総務省）、住宅着工統計（平成20年）（国土交通省）
アメリカ：Statistical Abstract of the U.S. 2006
イギリス：コミュニティ・地方政府省ホームページ
フランス：運輸・設備・観光・海洋省ホームページ